

東北未来創造塾（H26/3/21-22） 参加者の声

◆福島・いわき 44歳 男性

私たちの NPO は津波被害の古民家修復をメインに活動しています。建築の仕事をしておりボランティアも集まりやすい時期でしたから建物修復イベントで困ることはありませんでしたが、修復後の古民家を使ったイベント運営は経験が無く、それらに対応できる組織づくりで悩んでいました。

古民家修復から地域の空家再生へ展開していく活動の趣旨は明確で、続けていけばたくさんの支援者が自然に集まると思い込んでいたのですが、ワークショップの参加者の多くは徐々に固定のメンバーとなり、最近では NPO 会員も思うように増えていませんでした。

今回塾に参加し自分の取り組みを短時間で話す練習をしました。活動の社会性をみんなの前で説明したはずなのに、自分の言葉は想像以上に相手に届いていませんでした。これまで私たちの活動について説明を受けた方々の多くが、その内容を把握できていない可能性について気付き愕然としています。

塾から戻ってからは共感を得ることを意識するようになり、時間を見つけては自分の取り組みを伝える言葉を考えています。伝えたい強い思いが込められてないと表面的な言葉遊びで終わってしまいアイデアはまだまとまっていません。しかし、NPO の活動の原点を常に意識していますので何かを決断するときの判断基準が以前より明確になったような気がしています。

◆福島・郡山 31歳 女性

塾に来る前は、箒×福祉、前例のないことに取り組んでいたため、やるべきことは多いはずなのに優先順位を付けられずに過ごしていました。また、じっくり自分と向き合うことなく思いだけで行動を起こしていたため、空回りしてしまうことも多く破裂寸前でこれからどうしようか悩んでいました。

塾に参加し、自分自身と向き合うことはものすごく難しいものだと感じました。しかし、時系列も内容の深さもバラバラの私の思いや活動をまとめるお手伝いをたっぷり 70分、メンターの皆様や同じ塾生の皆様と一緒に考えて下さり驚くほどスッキリと「自分は何者で、どうしてこんな思いになり、なぜこの活動をしていくのか？これからどうしていくのか？」が纏まりました。個人で考える時間では、自分自身と向き合い、逆にやりたくないことも見えて、何のために何をする（している）のかを洗い出すことで大分やるべき事やその優先順位が見えてきました。やるべきことが見え優先順位がわかると、企画ではなく具体的な計画に落とし込めて、明日から始めればよいことや半年後にとっておけばよいことが見え、すぐに行動に移せるようになりました。自分がこれからすることなのだから、本当は一番「自分」と向き合わなくてはならないのに、そこを無視してスター

トし、自分が見えなくなってしまうことに気が付きました。

共感していただくことは大切なことと頭では判っているつもりでしたが、実際には活動量の割に共感が得られていないという思いがありました。自身の「思い・活動・これから」がクリアになり、共感を得るために周囲の人々に何をどう話していけば良いのかがクリアになったことで、今まで関わってくれていた方々に改めて活動のご報告に上がると「わかりやすい！」「それならこうしよう！」「声かけといたから、ここでやりな！！」など共感や具体的ご協力をいただくことが出来ました。また、私自身のことを纏めていく過程でメンター・塾生の皆様が一切拒否や否定することなく聴いて下さったことで原体験を思い出し、素直に話すこと・初心に帰ることが出来たことから、私自身も色々な方とお会いするときにきちんとお話を聴こう、否定はやめようと改めて思えました。塾を終えて、何のために・何を・いつまでにするのか？シンプルになったので、今までのように気負って疲れることも無さそうですし、活動を細く長く地道に続けて共感を得られることも出来そうです。活動を続けるうちにまたこんがらがってしまうこともあると思いますが、その時はこの塾でクリアになったことを思い出し、活動に取り組んで行きます。

◆福島・田村 28歳 男性

塾に参加する前は、正直、自分の課題が何なのかしっかりつかめていませんでした。周りに経験のあるディスカッションパートナーがおらず、暗闇の中を日々、自分一人で手探りで進んでいた気がします。

塾に参加して、似たテーマを持つ他の参加者や経験のあるメンターと朝9時から夜21時まで、自分や他参加者の事業計画、達成したい未来についてじっくり話合う中で、事業計画のみならずメンタルも整えられていきました。これだけ自分に、しかも仲間のいる環境で2日間、向き合ったのは初めてでした。結果、自分の達成したい未来について、納得のいく形で進めるようになりました。特に塾が終わってからも、参加者同士で集まり中間報告をしたり、交流会を開催する流れになっています。人は人によって磨かれ成長していくと言いますが、私は意識の高い仲間とメンターと高め合う場を求めていたのだと思います。

◆福島・いわき 40歳 女性

東北未来創造塾に参加させていただいた、私の率直な感想は、「行って良かった！」このひと言に尽きます。塾を体験する前の私には、数ヶ月前から、自分の事業に対する他人からの客観的な意見が欲しいという気持ちがありました。事業をスタートすれば、毎日が選択や決断、PDCAサイクルの連続で、自分の事業を一步引いた視点で見る時間をなかなか取れずに、1年間ひたすら進んで来ました。そんな中でのこの塾への参加は、きつい時間を押してでも、出る価値のあるものでした。むしろ、おつりの方が多いくらいです。一流のメンター陣や、開拓者である塾生の皆様とのご縁

もそのひとつです。私は、塾から帰って以来、2日間で頂いた言葉が、たびたびフラッシュバックを起こします。それは、ひらめきに似ていて、もっと落ち着きのある心地良い確認作業で、「確信」と言うべきものかも知れません。現状より、さらにもう一步進みたいとお考えの方は、まずは参加されることをお勧め致します。

◆青森・八戸 42歳 男性

東北未来創造塾に参加する前の私は、進めていたプロジェクトが頓挫して、自分の進むべき道を見失っておりました。プログラム内容もよく理解せずなんとなく参加した塾でしたが、オープニング直後に、この場の意義と重要さを痛感しました。塾の目的と到達目標は、明確かつ的確。自分らしいリーダーシップを再認識し、持続可能な事業モデルを可能な限り追求すること。錚々たるメンターの方々や他の塾生からのフィードバックを頂戴しながら、自分の内面の奥深に在る「大切なコト」を、自ら感じるプロセスを体験することができました。それが可能になったのは、塾生の立場に完全なまでに立脚して発せられる、メンターからの「問い」によって、内面が整理されていったからです。今回の経験を通して、自分の原点を再認識でき、心機一転、再スタートをきることができました。素晴らしい機会を頂戴して、心から感謝しております。

◆岩手・大船渡 54歳 男性

私は、東日本大震災以後、起業なさる方々をサポートする仕事に携わっていますが、私自身も起業を目指してはいたものの、自らの起業を第三者的な目で見ることが難しく、また、今、自分自身に欠けていることや事業内容そのものを客観的に見ることができずにいたため、なかなか起業に漕ぎつけずにいました。

本塾は、従来型のセミナーや講座といった座学により知識を得るだけのものではなく、塾の講師やメンターの方々、さらには受講生の方々の力を借りてあらゆる角度から自ら考え、見直し、そして自分自身に問いかけるものでもあります。

このことは、私が思い描いている起業自体を「リーダーシップ」と「事業モデル」の観点から客観的に見直し、検証することができただけでなく、起業における私自身の「課題」が明確になり、そしてその事業が「誰のため」であるかということを深く考えることができました。

塾での学びと経験は、起業（事業）の実現と継続・発展に大きな役割を果たすことはもちろん、今後、私がサポートするであろう起業者のみなさんにも大きく寄与することができるものと確信しています。